

## ロシアによるウクライナへの軍事侵略に対する決議

2月24日に開始されたロシア軍によるウクライナへの侵略は、明らかに同国の主権及び領土の一体性を侵害し、武力行使を禁ずる国際法に違反するものであり、断じて許されない行為である。

こうした力による一方的な現状変更はヨーロッパにとどまらず、アジアを含む国際社会の秩序の根幹を揺るがしかねない極めて深刻な事態であり、非核平和都市宣言をしている本市としても看過できるものではない。本市はこれまで、30年の長きにわたり、ロシア連邦サハリン州ドーリンスク市と、経済交流や人的交流を通じて、友好を深めてきた歴史があるが、今回の行為はこれまで積み上げてきた本市とドーリンスク市との関係さえも無にしかねない。

よって、名寄市議会は、今般のロシアの侵略行為に対し強く非難するとともに、ロシア軍の攻撃停止、即時撤退及び国際法の遵守を強く求めるものである。

以上、決議する。

令和4年3月17日

名 寄 市 議 会